

# 令和4年度第3回社会教育委員会議会議録

開催日	令和4年12月19日(月)	開会時間	15時00分			
会場	和光市役所6階 602会議室	閉会時間	16時30分			
委員の 出欠状況	柴崎隆史	欠	長友真理	出	◎久米隼	出
	佐野一機	欠	鈴木敬一郎	出	泉素子	出
	柳下和弘	出	宇部章子	欠	中川淳子	出
	花岡理恵子	出	伊藤芳夫	出		
	村山喜三江	欠	○森田圭子	出		
	小見山映二	出	山崎尚子	欠	◎議長 ○副議長	
傍聴者	2名					
事務局	<b>【教育委員会】</b> 石川教育長、寄口教育部長 <b>【生涯学習課】</b> 亀井次長兼課長、山本課長補佐、大野中央公民館長、長峰南公民館長、舘野主査、曾根田生涯学習推進員、西生涯学習推進員 <b>【学校教育課】</b> 岩崎副主幹兼指導主事 <b>【スポーツ青少年課】</b> 鈴木課長					
議題	(1) 地域学校協働活動について (2) 社会教育推進に関する意見交換について					

## 1 開会

## 2 あいさつ

### ○ 石川教育長

本日は、ご多用にも関わらず、第3回社会教育委員会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今年は、3年ぶりに「市民まつり」も開催されました。生涯学習課関係事業にも多くの方に参加していただき、市民のみなさまにも喜んでいただけたことと思っております。

また、成人式も、今年度より「成人式～二十歳を祝う会～」という名称にいたしまして、来年1月8日(日)午後1時30分より、行うこととなりました。これまで、感染拡大防止のために、二部制としておりましたが、今年度は、全員が一堂に会して、実施する予定でございます。新型コロナウイルスの感染状況には、配慮をしていかなければならないと考えてはおりますが、ぜひ、みなさまのお力添えをいただきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

この後の会議では、公民館を拠点とした地域学校協働本部の活動について、これまでの進捗状況をご説明し、みなさまにご審議をお願いいたします。

3月14日にお預かりしました答申には、「地域とともに歩む学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を進めるため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動それぞれの充実、双

方向の連携・協働の重要性について、お示しをいただいております。

地域学校協働本部の活動は、和光市の社会教育推進の要として、「学校支援を中心として」、「できることをできる範囲で少しずつ」取り組むこととし、コミュニティ・スクールチーフディレクターを中心に、各中学校区で少しずつ実績を積み上げております。

みなさまにご意見をいただき、更に、今年度の活動や次年度の計画に反映させていただきたいと考えております。

また、短時間ではございますが、社会教育全般について、ご意見をいただく時間も予定しております。ぜひ、忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### 3 自己紹介

#### ○ コミュニティ・スクールチーフディレクター

牧 大和中学校区本部長  
稲 津 第二中学校区本部長  
新 井 第三中学校区本部長

#### ○ 事務局

岩 崎 学校教育課課長補佐兼指導主事  
曾根田 生涯学習課生涯学習推進員

#### ○ 事務局(生涯学習課 課長補佐)

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開、傍聴者の紹介、欠席者報告、資料の確認と説明

#### ○ 議長(議事進行)

今年も残りわずかとなりました。師走と呼ばれる12月ですが、別の称し方では、月が変われば新春が訪れることから春待ち月とも呼ばれています。私は、春の訪れを楽しみますという意味で、この春待ち月についてよく学生にも話をしています。

さて、和光市の社会教育においては、地域の文化や伝統を受け継ぐ正月行事も幅広く捉えれば社会教育の一つとなります。新成人の新たな門出を祝う、「成人式、～二十歳を祝う会～」も社会教育の関連行事として、举行されます。新型コロナウイルス感染症対策のため、事業も中止や規模の縮小などが相次いでまいりましたが、今年は、この式を一部制として実施するというお話もありました。少しでも、以前の形に近づけて実施できないものかと、教育長はじめ、実行委員、担当課のみなさまが知恵を出し合いながら、準備や検討を進められていると聞いております。誠にありがとうございます。

本日の議題ですが、今年度からスタートしました地域学校協働本部、そして、中心となって活動するコミュニティ・スクール チーフディレクター(CS チーフディレクター)の役割、これらの点について、集中的に議論を行いたいと思っております。

そこで、本日は市内各所でチーフディレクターとして、ご活躍されている方々にも、ご出席をいただいております。ありがとうございます。

この仕組みは、今年度スタートしたばかりの初々しい事業です。季節で言うと、まだ春にも至らないかもしれません。この学校と連携・協働した地域づくりを目指す仕組みは、社会教育法が根拠法になっております。

私たちも社会教育委員として、注目すべきこの仕組みについて、本日はお互いに知るというところからスタートし、今後につなげる第一歩の会議になればと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議ですが、不開示の情報の審議を予定しておりませんので、公開いたします。会議がスムーズに進行できますよう、委員のみなさまのご協力をいただき、進行してまいりたいと思います。

○ 議長(議事進行)

議題に入る前に、各協議会の委員等のみなさまから、順次、ご報告をお願いいたします。

○ 柳下委員(和光市図書館協議会委員)

12月9日に、和光市図書館協議会が開催され、「第3次和光市図書館サービス計画(案)」、「第4次和光市子ども読書活動推進計画(案)」について話し合いました。

会議では、「第3次和光市図書館サービス計画」を策定するにあたり、本館の老朽化やスペース不足について意見が出されました。これらの課題については、令和4年度の評価に関する答申に含める方向性が示されましたので、次回の会議にて検討することとしています。

「第4次和光市子ども読書活動推進計画(案)」につきましては、子供が自主的に読書に向かうことができるように配慮しながら、読書の楽しさ、大切さを伝え、子供がよりよく生きていく力をいっそうはぐくんでいくために、図書館と幼保との連携、教育と福祉の連携等の視点から、具体的方策を示していくという方向性が示されました。

次回の会議にて、再度、協議いたしますので、後日、ご報告します。

○ 小見山委員(和光市青少年問題協議会委員)

12月26日に青少年問題協議会が開催されます。事務局と庁内庁外関係者が調整を進めてきた「ヤングケアラー支援体制図」について、協議する予定です。

埼玉県は、令和2年3月、全国で初めてとなるヤングケアラーを支援するための条例「ケアラー支援条例」を制定し、11月をケアラー月間として、集中的に広報啓発活動を行っています。県は、啓発リーフレットやハンドブックを作成していますので、啓発活動に協力し、取り組んできました。

和光市でも、「ヤングケアラー支援体制図」の策定だけでなく、「ヤングケアラー支

援関係相談先一覧」をとりまとめていく予定です。

○ 泉 委員(和光市人権教育推進協議会委員)

10月24日に人権教育推進協議会理事会が開催され、令和4年度上半期の事業報告がありました。今後、1月12日に研修会、2月2日に現地研修会が計画されています。現地研修会では、大宮の五反田会館を訪問します。2月9日には、人権講演会が予定されています。

○ 議長

ご報告に対して、みなさまからご質問等ございませんか。本会議にて、定期的にご報告いただいておりますが、各協議会等の取組みを共有できる意義ある場と考えております。ありがとうございました。

○ 議長(議事進行)

それでは議題(1)「地域学校協働活動について」に移ります。まず、事務局から説明をうかがいます。その後、委員のみなさまには、審議の中で、それぞれのお立場から、公民館を拠点とする和光市独自の地域学校協働本部の活動が推進されるような様々なアイデアをいただきたいと思っております。説明を聞きながら、ご準備いただきますようお願いいたします。

○ 事務局(生涯学習課長)

それでは、「コミュニティ・スクールチーフディレクターの活動」について、ご説明申し上げます。コミュニティ・スクールチーフディレクターは、各学校より推薦されたCSディレクターのなかから、中学校区ごとに1名、教育委員会が選任しております。各中学校区の代表者(本部長)を兼務しており、さきほど、自己紹介をしていただきました3名の方をお願いしております。

公民館を拠点として、週2日程度、1日につき、2時間程度、活動をしていただいております。ひと月の活動時間は、これまでの実績から12時間から26時間となっております。公民館では、関係者との打合せ、学校と支援者への連絡、公民館長(職員)との調整等連携を進めていただいております。

次に、「地域学校協働本部の構成」について、ご説明申し上げます。地域学校協働本部は各校のCSディレクターの代表者1名、各校の学校運営協議会委員から推薦していただいた地域コーディネーター1名、各校の地域連携担当教職員1名で構成されております。各中学校区ごとに学校数が異なりますので、地域学校協働本部の構成人数も異なっております。「本部長は、構成員以外の関係者等に対し、会議への出席、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。」と要綱に示されております。

これまで開催いたしました推進会議には、公民館長が同席しております。更に、学校長に出席を依頼し、地域学校協働本部の活動に対して、学校の理解と協力をいただくよう進めてまいりました。

○ 事務局(曾根田生涯学習推進員)

先ほど、次長からご説明申し上げましたとおり、地域学校協働本部の構成者は、CS ディレクター、地域コーディネーター、地域連携担当教職員でございます。これまで、各中学校区ごとに2回の会議を開催いたしました。

第1回の会議では、構成者の確認、各中学校区の活動の方向性、各学校の地域との連携の状況、学校の計画等について確認をいたしました。

第2回の会議では、これまで5か月の地域学校協働本部の取組みにつきまして相互理解を図るとともに、公民館を拠点とする地域学校協働活動について、協議を行いました。また、今後の学校の計画を確認いたしました。

地域学校協働本部推進会議だけでは、活動を進めることが難しいため、各中学校区にて、CS ディレクター、地域コーディネーターの方にお集まりいただきまして、学校の状況把握、地域の情報交換、学校支援に対する協議等を進めてまいりました。各中学校区の状況を関係者が共有し、関係者それぞれのお立場、役割を踏まえまして、学校支援のための意見交換を進めることができました。

今後の見通しといたしましては、ボランティアでの活動ではございますが、地域学校協働本部の活動を進めていくために、できる時にできる範囲でのご協力をお願いしてまいります。

○ 議長(議事進行)

ありがとうございました。本日の会議はこの制度をしっかりと理解するということに重きをおきたいと思っております。ご質問等があれば遠慮なくお願いしたいと思います。

それでは、次の説明をお願いいたします。

○ 事務局(生涯学習課長)

各中学校区のこれまでの取組みにつきましては、活動の経過報告となりますので、各中学校区のコミュニティ・スクールチーフディレクターの方々に、説明をお願いいたします。

○ 牧 大和中学校区コミュニティ・スクールチーフディレクター

大和中学校区地域学校協働本部のこれまでの活動についてご報告いたします。

7月8日の第1回推進本部会議以降、地域学校協働本部関係者の打合せを月に1回程度行い、各学校から選出されたCS ディレクター、地域コーディネーターの方々とのつながりづくりを進めてきました。学校支援の方向性について、関係者が意

見を出しあい、確認することができるようになりました。

また、支援する団体・組織やその取組みが学校によって異なっている状況を、関係者が共通理解できたことは、中学校区での活動を進めるうえで、役に立っております。

9月に、白子小学校からクラブ活動支援、大和中学校から面接練習支援の依頼がありましたので、学校へうかがい、内容を十分に把握し、その後、本部での打合せを重ねながら、活動準備を進めてきました。

白子小学校からは、4年生以上が参加するクラブ活動のなかの「室内遊びクラブ」、「料理・手芸クラブ」への支援依頼がありました。公民館長にお力添えをいただき、公民館活動団体の方とつながりづくりを進め、10月17日、11月21日に、将棋の遊び方、ミシンを利用した作品製作の支援が実現しました。

大和中学校の面接練習支援につきましては、面接支援者の力量も問われることから、学校との打合せ内容を十分に関係者が共有し、13名の方にご協力をいただいています。各小学校の学校運営協議会で、支援者を募り、中学校を応援する体制づくりを進めています。生徒の面接練習は、11月4日から始まりましたが、11月末日までに、7名の方が82回の支援をしてくださいました。当初は、先生が行う面接練習に同席した後、独り立ちしていただいています。この面接練習は2月中旬まで続きますので、引き続き、取り組んでいくこととしています。

また、大和中学校からは、10月に定期テスト前の学習支援への援助、11月に、第3学年と特別支援学級の書初め指導支援がありました。書初め指導支援については、公民館長のお力添えをいただき、公民館活動団体の方に11月30日、12月12日、12月16日の合計3回、授業支援をしていただきました。

定期テスト前の学習支援への援助は、適任者がみつからず、活動につなげることができていませんが、引き続き、適任者を探していきたいと思っています。以上で、大和中学校区の活動報告といたします。

#### ○ 稲津 第二中学校区コミュニティ・スクールチーフディレクター

第二中学校区地域学校協働本部のこれまでの活動についてご報告いたします。

6月23日の第1回推進本部会議以降、地域学校協働本部関係者の打合せを月に1回程度行い、各学校から選出されたCSディレクター、地域コーディネーターの方々とのつながりづくりを進めてまいりました。

地域学校協働本部が進める活動について、関係者が忌憚のない意見を出しあい、方向性を少しずつ確認することができました。

また、学校を支援する組織や取組みが学校によって異なることを、理解することができたことは、中学校区での活動を進めるうえで、貴重な時間となりました。

第1回の推進本部会議以降の打合せの中で、第二中学校区としての取組みについて検討し、「平和について考えよう」という講演会を8月5日に実施しました。夏休

みに実施することで、児童生徒、保護者、地域の方々にも参加を募りました。結果として周知の時間も短く、参加者は16名、中学生2名の参加になりました。

続いて、8月25日に広沢小学校保護者の会が計画していた夏休みのイベント「ピームライフル体験」に、第二中学校区の児童生徒にも参加の枠を広げていきました。参加者を募りましたところ、第三小、広沢小、本町小、第二中学校、4校の児童生徒の参加が実現できました。

また、第二中学校区の「ロゴ」を作ったらどうかという意見が本部打合せ会のなかであがり、第二中学校の美術部の生徒にロゴ作成の依頼をすることになりました。夏休み中に任意で取り組んでいただき、第2回推進本部会議で7点のロゴを披露することができました。

その後、学校からの依頼として、広沢小学校の読みきかせ支援、本来は保護者の会が行っていますが、人数の足りない2名分の依頼があり、第三小学校で読み聞かせをしている「アメンボの会」の方が引き受けてくださいました。今後継続して1月にも協力する予定です。

さらに、12月1日には広沢小学校6年生の図画工作科「水墨画」の授業にゲストティーチャーをお願いし、支援をすることができました。当初、支援を予定していた方がご都合がつかなくなったために、急遽新たな方を探しました。公民館長のお力添えをいただき、図書館の館長へ人材の紹介をお願いしました。その結果、地域の書家の方と連絡をとることができました。普段は、書道家として都内、神奈川県等でご活躍されている方ですが、活動の趣旨をお話したところ、ボランティアとしてのご協力をお引き受けいただくことができました。

学習支援について学校からの要望があり、第二中学校区として支援の方向で具体策を検討しているところです。以上で、第二中学校区の活動報告といたします。

#### ○ 新井 第三中学校区コミュニティ・スクールチーフディレクター

第三中学校区地域学校協働本部のこれまでの活動についてご報告いたします。

7月5日の第1回推進本部会議以降、関係者が集まることが難しく、第1回の打合せは8月23日になりました。これ以降、月に1回程度打合せを行い、各学校から選出されたCSディレクター、地域コーディネーターの方々とのつながりづくりを進めてきました。

地域学校協働本部が進める活動について、関係者がアイデアを出しあうことで、方向性を少しずつ確認することができました。学校を支援する地域情報を共有しながら、第三中学校区に応じた取組みを少しずつ進めています。

打合せのなかで、第三中学校の環境整備に取り組んでいる方がいるとのお話があり、地域学校協働本部でも支援をする方法について、協議してきました。

地域学校協働本部関係者に第四小学校地区社協の方がおりましたので、10月4日には、第四小学校地区社協のみなさまにも協力をいただきました。更に、第四小

学校地区社協のみなさまが、地域の民生委員の方に呼びかけてくださいましたので、11月2日には、活動者も増えました。12月9日には、南エリアの地区社協会議にて、事務局より、地域学校協働活動への協力をお願いしました。これからも、関係地域団体へのお声かけを少しずつ、進めていくこととしています。

9月に、第五小学校から1年生、5年生の授業支援依頼がありました。1年生の授業支援については、公民館長のお力添えをいただき、11月10日、公民館活動団体の方にゲストティーチャーとして授業に参加していただきました。

5年生は、道徳の授業で地域のために自分たちができることはないかと考え、近隣施設に児童の作品展示を希望しておりました。情報が寄せられましたので、関係施設を訪問し、事前の調整を行いました。12月に入り、公民館、児童館、保育園等に児童の作品が置かれております。「どうぞの机」という机の上に、自由に持ち帰っていただける児童の作品が置かれています。随時、子供たちが施設をまわり、作品の補充もしております。

また、第五小学校からは、学区が広く、放課後の児童の安全確保に努めたいとの話をうかがいました。和光市には、市内学校、地域、保護者相互の連携を密にし、青少年の健やかな育成環境と地域防犯活動を目的に2001年に設立された「和光市地域子ども防犯ネット」があり、コロナ禍以前は、「キッズ・ガーディアン」の活動を進めていました。第三中学校区地域学校協働本部では、この活動に賛同し、まず、保護者のみなさんに子供たちを見守る活動について改めて、周知を図ることとし、今後、学校のご協力をいただき、周知活動を進めることとしています。

打合せのなかで、地域に子供たちのため学びの場を提供している方がいらっしゃることがわかりました。参加者が少ないことをおききましたので、この活動に対しても、学校にも協力をお願いして、支援を進めることとしました。状況をみながら、今後も、検討していきたいと思えます。以上で、第三中学校区の活動報告といたします。

#### ○ 新井 第三中学校区コミュニティ・スクールチーフディレクター

ただいま、各中学校区の活動を順に紹介しましたが、全中学校区の取組み、成果、課題を資料にまとめております。

地域学校協働本部での打合せを重ねるごとに、関係者の相互理解が進み、つながりも深くなってきています。CS ディレクターや地域コーディネーターがそれぞれの立場や役割に応じて、7点の取組みを進めています。

半年にも満たない期間での活動ですが、成果を8点お示ししました。CS チーフディレクターの役割を果たすなかで、感じたことをお示ししていますが、社会教育のねらいが「人づくり・つながりづくり・地域づくり」であることをおききして、改めて、地域学校協働本部での活動が子供たちの健やかな成長や地域でのつながりづくりに寄与していることを感じています。

活動を始めたばかりですので、その都度、課題がでてきます。特に、和光市は小

さなまちであることから、いくつもの職や役割を兼ねている方が多くいらっしゃるものがわかってきました。地域人材の掘り起こし、協力者の輪をどのように広げていくかは大きな課題であり、社会教育委員のみなさまからもよいアイデアをいただければ幸いです。

簡単ではございますが、各中学校区のこれまでの取組みについてご報告させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 議長(議事進行)

ご報告いただき、ありがとうございました。ご報告いただいた内容は、わずか6ヶ月ほどの期間のなかでの取組みです。地域ごとのニーズに応じて、これだけ多彩な活動を進めていただいていることをご報告していただきました。

ご報告のなかで、公民館との連携等について報告していただきましたので、本日は、3公民館を代表して、長峰南公民館長に公民館の取組みについて説明をお願いします。

○ 事務局(長峰南公民館長)

「地域学校協働本部との連携・協働を進める公民館」についてご説明いたします。

まず、徐々にではありますが、公民館職員の意識改革が進められております。CSチーフディレクターの活動を公民館職員が把握し、相互理解のもと、連携・協働を進めてきております。

資料には、具体的な取組みを8点、お示してございます。このなかで、公民館長が学校運営協議会委員としてコミュニティ・スクール推進に関わることは、社会に開かれた教育課程の編成に寄与する、大変意義のあることと考えております。

また、学校応援団募集チラシの公民館活動団体への配布、公民館まつりでの関係小・中学校のパネル紹介等は、今年度、公民館が中心となり、新たに取組みを始めたものでございます。

南公民館まつりでは、中学校美術部の作品展示を行いました。来館された方から、お褒めの言葉をお預かりし、改めて、公民館が学校と地域をつなぐ役割を担っていることを実感いたしました。小学生の施設見学の際には、公民館利用団体の活動の様子を子供たちに紹介し、短時間ではありますが、交流の機会を設けるようにしております。子供たちが大変喜んでいた様子が印象的でした。

前回の会議にて、お知らせしておりました公民館会議室の開放につきましては、本日、市HPに掲載いたしました。12月26日から12月29日、1月4日から1月6日までの計6日、お昼の時間を除き、午前9時から午後5時まで実施いたします。LineやTwitter等でもご案内いたします。

今後も地域学校協働本部の活動の周知、連携・協働を進め、公民館を核とした地域づくりを進めるとともに、地域ニーズを把握し、学校では実施が難しい事業を公民

館事業として実現できるよう検討してまいりたいと考えております。

○ 議長(議事進行)

3月14日に本会議より、答申をいたしました。各学校の教育計画もすでに作成が進められていた時期でもありました。地域学校協働本部の活動は7月頃にスタートしたというご説明でしたので、各学校のニーズに応じて対応を進めるために、様々なご苦勞があったことがうかがわれます。

みなさまからご質問がありましたら、お願いします。

○ 議長(議事進行)

それでは審議に移ります。みなさまにはそれぞれのお立場から、公民館を拠点とする和光市独自の地域学校協働本部の活動が推進されるよう様々なアイデアをいただきたいと思っております。

本日は、CSチーフディレクターの方がいらっしゃいますので、まず、お互いの理解を深めるため、みなさまの活動を簡単にご紹介いただきます。その後、アイデアをいただきたいと思えます。柳下委員より、順にお願いいたします。

○柳下委員

市内幼稚園を代表して、社会教育委員を務めております。朝霞市・志木市・新座市・和光市の朝霞地区四市で構成する東上地区私立幼稚園協会にて、教育研究委員を務め、情報交換を含めて四市の幼稚園の教育充実に力を尽くしております。

さきほど、説明をおききしましたが、わずか半年の間に、これだけの活動を進めてこられ、すばらしいお取組みをされていると思います。今後、どのような活動を進めていただけるかと考えた時に、幼保小の連携が思い浮かびました。現在でも、幼保小の連携は進められていますが、体験会の数はそれほど多くはありません。園児が安心して進学するためにも、ご検討いただければと思います。

また、地域学校協働本部の活動を周知することが必要だと思えます。地域学校協働本部だよりの作成、SNSを利用した広報等、幅広く市民の方に理解していただくための方策を検討し、協力を得られるように積極的に活動を案内していくことが推進のためにも必要だと思えます。

○花岡委員

文化団体連合会の代表として参加しています。連合会は、文化の向上と意識の高揚を図ることを目的として、広く市民文化の振興発展を目指して、各団体の持っている得意分野の発表、講習などのボランティア活動に努めています。

学校との関係を紹介すると、新倉小学校では、すでにクラブ活動にお琴の会の方々が参加しています。将棋の会の方も、小学校のクラブ活動に協力しています。

舞踊、書道、菊づくり、民謡等15の団体が加盟していますので、学校からの要請があれば、可能な範囲で協力することができると思います。

本日の説明も、役員会で紹介し、地域学校協働本部の活動の支援ができるよう努めていきたいと思っています。

#### ○ 小見山委員

ボーイスカウト和光団を代表して参加しています。ボーイスカウト活動は、グループでの活動を通じて、ひとり一人に自主性、協調性、社会性、たくましさやリーダーシップを育てていきます。育成プログラムはバラエティーに富んでいて、年代に応じてもさまざまですが、特に、野外活動には活発に取り組んでいます。

10月30日に、南公民館では初となる「親子で体験『野外調理』講座」開催の支援をしました。親子で協力して、火のおこし方を学び、焼きそばやホットサンドを調理し、試食しました。また、的あてゲーム等を行い、親子で楽しむ機会を設けました。学校の教育課程のなかでは、なかなか経験できることではありません。日曜日に実施したことも公民館という会場の特性を生かしたといえるのではないのでしょうか。地域学校協働本部の活動にもつながるものと考えています。

これからも、ボーイスカウトの特性を生かした活動を進めていきたいと思っています。

#### ○ 長友委員

和光市保護者会・PTA 聯合会を代表して参加しています。PTA 会長であり、地域コーディネーターでもあり、地域学校協働本部の一員でもあります。

日頃から、学校のパートナーとして、地域の一員として役に立ちたいという思いを持っていますので、先日、「男女共同参画の視点による災害対応研修(独立行政法人 国立女性教育会館事業)」に参加しました。緊急時には、災害対応が大切であることは言うまでもありませんが、避難所運営では、地域の方々のさまざまな思いやご事情を配慮してこそ、生活をともにすることができることを学びました。

この経験から、地域の方と一緒に、災害対応や避難所運営を考える機会を持つことで、地域学校協働活動のベースである、人と人とのつながりが広がり、深まるのではないかと思います。地域学校協働本部でも、検討の価値はあると思います。

保護者、PTA 会長の立場を離れて、多文化理解、多文化共生をテーマにしている方々とのつながりづくりも進めています。この活動をとおして、学校の閉鎖性を感じることがありました。学校が地域の方に興味を持つ、地域の方を招き入れる、そのような体制づくりが地域学校協働本部の活動を通じて、進められるとよいと思います。

#### ○ 鈴木委員

和光市地域青少年を育てる会連合会会長として、参加しています。育てる会は、青少年の健全育成を考え、支援を行うことを目的に活動している団体です。市民ま

つりで模擬店運営のサポートを通して職業体験をするスマイルプロジェクト、三人一組のチーム対抗戦ペタンク大会や会報誌発行等に取り組んできました。各地域の自治会や自治体連合会のみなさんと密接な関係があります。

公民館を拠点とする地域学校協働本部の活動について、説明をおうかがいしましたが、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の役割について、まだまだ、理解が進んでいない状況があります。地域で子ども達を育む方策を考えながら運営している点は本会のねらいとも合致していますので、協力できることもあるかもしれません。地域学校協働本部の活動について、周知することが重要だと思います。

#### ○ 伊藤委員

自治会連合会を代表して、参加しています。自治会連合会は市内の自治会で組織され、自治会の加入促進活動やゴミ・ゼロ運動、防犯パトロール、通学路の環境整備、災害時の対応、高齢者の見守り等に取り組んでいます。

文部科学省の資料を拝見しましたが、和光市でも各地域ごとに特性がありますので、このままあてはめていくことは難しいと思いました。

学校を順次、訪問して、お話をうかがってきましたが、地域の人材リストを作成し、ゲストティーチャー等として教育支援の仕組みを整えている学校もありました。一方、地域との関わりをなかなか結ぶことが難しい学校もあるように思います。地域学校協働本部の役割の一つとして、継続性があげられますので、学校長が異動をしても、学校と地域の連携・協働を引継いでいく役割を望みたいと思います。

地域と密接につながっている学校も多くあります。地域学校協働本部の活動が学校だけでなく、地域にも伝えられ、手をとり合って子供たちのための活動が進められるよう努めていたくようお願いします。

#### ○ 泉 委員

市民公募委員 泉 と申します。私は、和光市に移り住んで2年ですので、まだどの団体にも所属しておりません。小・中学校にも関わっておりませんので、学校の状況を理解することは難しいことでもあります。

さきほど、説明をおききして、CS チーフディレクターの方々をはじめとして、多くの活動者が手探りのなかで、一生懸命活動に取り組まれていることがわかりました。公民館の利用団体に支援をいただいて、裁縫や書道に取り組む場をつくることは学校支援につながるようになります。

公民館での作品展示、親子の体験講座実施や子供たちと公民館利用団体との交流は、地域での子供の育成支援といえるでしょう。背伸びをせずに、できることを少しずつ進める方向でよいと思います。

みなさんに活動を知っていただくことは、大切だと思います。広報する、地域のみなさんに相談する、このような姿勢を大切に進められたらよいと思います。

○ 中川委員

市民公募委員の中川と申します。和光市テニス協会の活動に取り組んでいます。子ども教室では、テニピンの指導者として、ボールを扱う運動の楽しさを味わわせる取組みを進めてきました。子供たちは、とても吸収が早く、いろいろな可能性を秘めています。もちろん勉強も大切ですが、特に小学生のうちに一生懸命遊ぶことを大切にしてほしいと思います。

スポーツには、コミュニティをつくる力があります。楽しく過ごすと、人も集まってきます。人と人をつなげる力がスポーツにはあるのです。私は、テニピン等のスポーツをとおして地域づくりもできると考えています。地域学校協働本部の活動のなかで、スポーツに関係する協力者の輪を広げていきたいと思っています。

○ 森田委員

NPO 法人 わこう子育てネットワークからまいりました。子供が主体となり遊ぶプレイパーク事業、子育てをしている方なら誰でも気軽に利用できる子育てサロン、ボランティアがお子さんのいる家庭を訪問し、フレンドシップで支援するホームスタート等の事業を実施しています。

コロナ禍により、地域の方だけでなく、保護者が学校に入ることさえ難しい状況が続いてきましたが、少し明るいきざしが感じられる時季に、地域学校協働本部の活動が始められました。子供たちが学ぶ場は、学校だけではなく、学校ではない場所でいろいろな大人に出会い、学ぶことが、未来を担う子供たちに求められています。

多くの方に知っていただくことが、この仕組みをよりよく動かしていくことにつながると思います。この半年の活動は、すばらしいものだと思います。多くの方々と情報を共有し、ともに考えていく動きが広がっていくとよいと思います。

○ 議長

みなさま、ありがとうございました。

まず、わずか6ヶ月ほどの活動期間にも関わらず、3中学校区の活動について取りまとめ、CS チーフディレクターのみなさんからご報告をいただきましたことに、感謝申し上げます。

さて、本市では、平成30年度に全小・中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」が進められてきました。

一方、地域学校協働本部は、学校と地域が連携・協働し、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして、連携・協働して行う様々な活動を進めるために本年度設置された組織です。学校と協働して行う活動は、社会教育法に規定されており、中心となって活動していただく方が、地域学校協働

活動推進員(CS チーフディレクター)として選任されております。

大切なことは、わたしたちのまちづくりのために、この制度をうまく運用し、社会教育全体を盛り上げていくことだと思っております。学校の願いと地域の思いを結び付け、具体的な活動を進めていくことが強く求められております。

活動にあたって、CS チーフディレクターのみなさまが学校や地域に出向き、相互理解を深めようと取り組んでこられたことが資料からも読みとれますが、審議のなかでは、更なる情報提供が求められました。この点については、私も同意見ですので、今後、改善を図っていただくようお願いいたします。

ご報告をおききしていて、決して広くはない和光市でも、地域に応じた多彩なニーズがあることが印象的でした。これからも、ぜひ、地域に合わせた活動を進めていただくようお願いいたします。

答申のなかでは、公民館に対して、地域学校協働本部の役割の充実について提言しております。公民館長をはじめとする職員の方の取り組みにより、公民館と学校との連携が進められ、地域学校協働本部でも公民館と連携・協働した活動が進められていることをご報告いただきました。公民館を拠点とする和光市独自の地域学校協働活動が発展していくためには、公民館職員の力が重要です。引き続き、社会教育の拠点としての取り組みをお願いいたします。

また、法的にも位置付けられ、積極的に活動を進めてこられたCS チーフディレクターの方々の取り組みを社会教育委員会議としても十分に理解し、更に連携・協働していくことが地域を盛り上げていくことにつながります。委員のみなさまには、改めまして、活動に対するご理解を深めていただくようお願いいたしますとともに、所属される団体組織と地域学校協働本部をつなぐ役割を担っていただきますようお願いいたします。

地域学校協働本部の活動は、始まったばかりです。本日の審議内容を今後の活動に活かしていただくとともに、今後も、本会議にて審議し、社会教育の充実に努めてまいりたいと考えております。この際には、みなさまから地域学校協働本部での活動へのご協力について、おうかがいできることを楽しみにいたしておりますので、どうぞよろしくようお願いいたします。

○ 議長(議事進行)

それでは、議題(2)「社会教育の推進に関する意見交換について」に移ります。社会教育全般にわたって、ご意見があればお願いいたします。いかがでしょうか。

○ 議長(議事進行)

それでは、3月に第4回会議を予定しておりますので、何かございましたら、事務局にお知らせください。

○ 議長(議事進行)

それでは、本日の審議内容に関しては、全て終了いたしました。

これにて、議長の任を離れさせていただきます。委員のみなさまには、ご協力をいただき、ありがとうございました。

○ 事務局(生涯学習課 課長補佐)

本日はお忙しいなか、長時間に渡りましてご意見等を頂き、誠にありがとうございます。今回の会議の中でみなさまからいただきましたご意見につきましては、今後の社会教育事業の推進に反映できるよう検討して参りたいと思います。

今後のスケジュールでございますが、この後、事務局では、本日の会議の会議録を作成し、各委員の皆様にご覧いただき確認をいただいた後、市HPに掲載いたします。お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

なお、第4回社会教育委員会会議を3月23日(木)午前10時より和光市役所にて計画しております。お手元の文書にてご依頼申し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会議を終了いたします。おつかれさまでした。気をつけて、おかえりください。